



2009年ニュース

2008年ニュース

2007年ニュース

2006年ニュース

2006年12月のニュース

2006年11月のニュース

2006年10月のニュース

2006年9月のニュース

WWDC2006レポートその1

WWDC2006レポートその2

WWDC2006レポートその3

WWDC2006レポートおまけ

2006年8月のニュース

2006年6月のニュース

2005年ニュース

2004年ニュース

2003年ニュース

2002年ニュース



受付の壁パナーはこれといった特徴なし

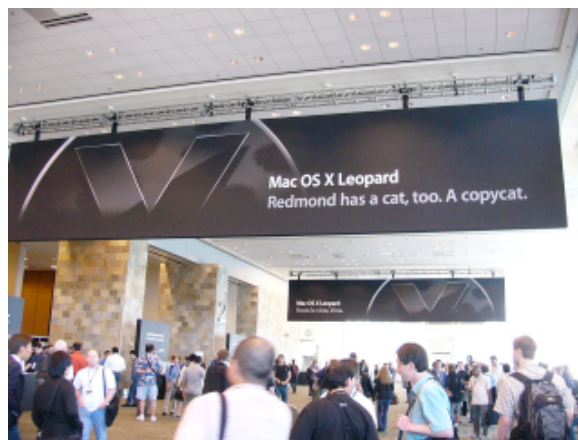
基調講演以外のセッション

基調講演以外はすべて機密扱いです。レパードの代表的機能が十個だけではないことは想像していただけだと思います。

地味であっても必要な技術は着実に磨きをかけています。

（きちんとした長期計画があり、それが着実に遂行されている印象です。開発者に取っては安心感があります）

うれしいのはFinderやiアプリなどAppleだけが使っていたUIを使えるようにしていることです。それから開発環境の強化にかなり力を入れています。（これはMac以外の技術者にも魅力的だと思います）



レパードの全貌はまだないしょ

全体の印象

参加者がとにかく多い、これに尽きます。

基調講演でも4,200人以上で過去最高と発表されました。

基調講演も会場に入りきれない人のため別室が用意されました。
日本からの参加人数は昨年に比べると少ない印象です。
毎年参加している常連が（8月なので）来ていない一方、はじめて参加された方が少なくなかったそうです。

人気のあるセッションは入場制限されていました。

食事

人数が多いためか、昼食は二度ランチボックスでした。メキシコ料理のようですがどうも日本人の味覚には合いません。
キャンパスバッシュでは食料の量は確保されていたものの、カンパニーストアは長蛇の列で私は並ぶのをあきらめました。

帰国

期間中にイギリスでテロ未遂が発覚し空港のセキュリティがとんでもなく厳しくなったことが連日ニュース（CNNもベイエリアのローカル局も）になっていました。幸い我々が出発した土曜日は手荷物検査を待つ国際線の列の長さは通常と変わらないようでした。

それでも検査はやはり厳しく私も通常の金属探知器の前に圧縮空気を吹きかけるゲートを通され、加えて手荷物も精密検査（？）されました。爆発物の検出器らしいです。
金属探知器を通る時は、なんとベビーカーに乗った赤ちゃんも靴を脱がされていました。

開催時期

それにしてもなぜ今年は8月開催となったのでしょうか？

この答えはたぶん、

配布するレパードプレビュー版の完成度を少しでも高くするため

MacProの出荷開始でインテル移行完了を宣言するため

のどちらかあるいは両方なのでしょうね。

夏休みの航空機もホテルも高い時期で、日本からの参加は5月開催よりもおよそ二倍も割高となりました。混雑していて高いこの時期は勘弁して欲しいです。
たまたま帰りの便が遅れて国内線の接続のために難儀しました。

これまでよりも会場を借り切る期間が短いらしく、土曜日のチェックインができなく金曜は午前中しかセッションがなく昼食も無くなっていました。これらの事からやはり八月開催は参加者にしわ寄せがあったと言わざるを得ません。



2006年8月11日

[前のページへ](#)

[次のページへ](#)

快技庵

開発情報

2006年

WWDC2006-2